

こんな活動です

「行きたくなる学校」に! ～学校・家庭・地域が一体となって育む柳東っ子～

山口県柳井市

活動名

「行きたくなる学校づくり」をめざしたコミュニティ・スクールの活動

関係する学校名

柳井市立柳東小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 50人	学習支援 有	開始年度 20年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無	
	地域未来塾	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 50人	子供の平均参加人数 20人	年間開催日数 10日	開始年度 27年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	放課後子供教室	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 20人	年間開催日数 10日	開始年度 27年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
		コミュニティ・ルーム、図書室		有	一体型					
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 20人	学習支援 有	開始年度 27年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無	
コミュニティ・スクール	指定日 平成20年4月1日					委員数 12人	児童生徒数 225人	学級数 10学級		

体制図



活動の概要・経緯
以前から地域課題としていた「地域のネットワークづくり」に取り組むため、平成27年度より、学校運営協議会の委員の見直しを図った。これにより、「学校・家庭・地域のネットワークづくり」を効果的かつ協働的に行うことが可能となった。従来の学校を支える「応援団」としてのさまざまな組織・団体を、コミュニティ・スクールの枠組みで再構築していくことによって、学校を中心とした地域づくりと学校応援団の自然な広がりが見られるようになってきている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

いつでも、だれでも自由に学校を訪れ、授業参観することができる「学校の自由参観」が、「学校運営協議会」主催で行われている。これは、「学校を内部から知ってもらうこと」、「児童のさまざまな顔を知ってもらうこと」、「教職員と地域住民がお互いの顔を知ること」を、家庭と地域と学校が連携・協働していく第一歩としようとする共通認識からである。来校を促すきっかけとして、外国語活動のある日を回覧で知らせていくことから始め、地域住民が来校しやすい「具体的な情報提供」を重視した。

学校と地域とが、地域全体のネットワークの中で個々の活動の意義やねらいを練り合い、連携・協働した活動を仕組むことで、個々のベクトルを「地域を揺り動かす原動力」として束ねることができる。その一つとして行っているのが、地域の文化会館、保育園、高齢者施設と同日開催の行事「はれるんフェスティバル」である。これによって、校区を中心とした地域の人の流れと交流・つながりを生み出し、地域活性化を図ることはもとより、これからの地域課題解決への原動力となる地域全体の教育力の向上をねらっている。

【実施に当たっての工夫】

「各団体の中心となる人と人をつなぐネットワークづくり」を最重要視し、学校運営協議会の委員を一新して、学校に関わる各種団体の長・委員をメンバーとした。これによって、機動性と即効性に富んだ活動が可能となった。学校運営協議会委員は、「柳東芝生の会」、「学校支援ボランティアコーディネーター」等の学校支援団体の責任者でもある。即ち、学校運営協議会が、「学校応援団の協議の場」ともなっている。協議会は、年間6～7回行われ、地域への依頼や情報提供は、学校長名ではなく、柳東小学校学校運営協議会名で自治会回覧に掲載される。幅広い立場の人と人をつなぐことが、地域の活性化を促す重要な要素となると考える。

● 事業を実施しての効果・成果

来校者が増加したことが一番の成果である。これは、保護者に加え、地域住民の来校者が増えたことによる。今でも、「本当にいつでも学校に行ってもよいのか。」という地域からの問合わせもあるが、これは、地域住民が学校というものを「地域の大切な存在」として捉えている証拠であり、今ではその問いに地域住民自らが誘い合せて来校するという形で応えてきている。子供を核として、年代を問わず同じ場で交流することのできるネットワークづくりが推進されていることは、今後、地域が高齢世代と若い子育て世代とで二分する中、互いの自己肯定感を高め合える存在として尊重し合える地域風土の醸成へとつながると考える。

● その他

平成27年度より、ボランティア団体「花育の会」及び地域住民による「放課後はれるん教室」を月に2回開催。主に1年生と5年生（両学年とも自主参加）を対象とし、学習指導及び学習支援を実施。内容は、プリントを用いた繰り返し学習による基礎学力の定着、学校の授業で理解が十分でない内容の復習、読み聞かせや素読・暗唱による豊かな心の育成を主としている。1年生児童については、児童クラブに在籍している児童も多く、児童クラブ指導員とも連携・協働を密にして実施している。



芝生の上でみんなで食べるお弁当



ゲストティーチャーによる「ひょうたんづくり」